



編集 SEF 事務局
 連絡先 03-3669-0499
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば 「気候変動防止対策」

理事 重富 紀

今年梅の咲く暖かい元旦で年が明けましたがその後沖縄では 100 年ぶりの雪が降りました。近年世界各地で天候不順による大規模な自然災害が頻発しています。昨年 12 月国連気候変動枠組み条約第 21 回締約国会議で世界の 196 ヶ国・地域は協調して気候変動防止対策を取ることを約束した歴史的な合意を正式に採択し、100 年後には人間活動による温室効果ガス排出量を実質的にゼロにすることに合意しました。産業革命以降石炭・石油をエネルギー源として文明を築いてきた私たちはこれから 100 年かけてこの石炭・石油によるエネルギーを実質ゼロにして全く違った次世代のエネルギーにすべて転換するという壮大なかつ挑戦的な課題に取り組むことになり、世界各国は協調してその実現に向けてアクションしていくことになりました。このエネルギー大転換実現に向けて各方面での技術開発競争が始まることになるでしょう。次世代のエネルギーはどうなるのか、我々の生活はどう変わっていくのか、そして今の石油文明はどう変わっていくのか、とても興味深いことです。

1 月度 (第 150 回) 理事会報告(1 月 20 日)

≪第 150 回理事会≫ 1. 平成 28 年度理事検討会の件 →審議・承認 2. 正会員 (吉田氏) 入会の件 →審議・承認 3. 広義の事業活動に対する日当支給の件見直し →継続審議 4. 平成 28 年 2 月度会員交流会開催の件 →審議・承認	5. H27 年 10-12 月事業部成行報告の件 →報告・了承 6. マイナバー講習会報告 →報告・了承 7. バッチャルオフィス、リタラオフィス調査 (その 2) →報告・了承 8. 平成 27 年源泉徴収法定調書合計票提出報告 →報告・了承 9. 平成 27 年 11 月会計報告 →報告・了承
---	--

事業報告 業務支援事業部会

担当理事 重富 紀

業務支援事業部会では今期 2 回の見学会を開催した。知識・知見を広め事業機会を拡大する一助になればと期待している。1 回目は 8 月にシーメット社を訪問し 3D プリンターを見学した。液状の樹脂にレーザーを照射してミクロン単位の固めた層を作りそれを積層して立体を造形していくタイプの 3D プリンターで、精密鑄造マスター、真空注形マスター、透明製品での可視化・形状確認、組み付け・干渉・デザイン確認等の用途用の製品を作るのに使われているとのこと。また 12 月には JAXA 相模原キャンパスを訪問して日本の宇宙科学研究の現状を勉強した。ここには故糸川博士のペンシルロケットの実物からはやぶさ 2 の実物大模型、屋外には固体燃料 M-V ロケットも展示してあり、あかつきやはやぶさの管制運用はここでやっているとのこと。両方ともとても興味深い見学であった。見学会は多くの参加者を得て非常に好評であったので、今後もこのような会を年 3~4 回開催していくことにしている。

SEF サロン 第 92 回案内

担当理事 白崎善宏

1 月 20 日開催予定でした講師原佑二氏の「変貌するインドーその現状と課題」は原氏のご体調悪く残念ながら中止となりました。

原氏にはいずれ同一テーマでご講演をお願いする予定です。従い、第 92 回は下記の通り 3 月 23 日に開催いたします。塩尻氏はイスラーム関係のご著作も多く、最近では文芸春秋 SPECIAL-2016 冬に「十字軍はイスラームに何をもたらしたか」を寄稿されました。ご参考に一読をお勧めします。

≪ 第 92 回案内 ≫

日時：2016 年 3 月 23 日 (水) 18 時 場所：青学会館内アイビーホール 1F 「フェリア」
 講師：塩尻和子氏 東京国際大学特命教授 国際交流研究所長 筑波大学名誉教授
 演題：「未定-イスラームについて」

1 月度会員動向

会員入退会 準会員より正会員へ (吉田幸弘氏)	2 月 1 日 会員数 正会員-31 名、準会員-28 名、賛助会員-3 社
----------------------------	---